

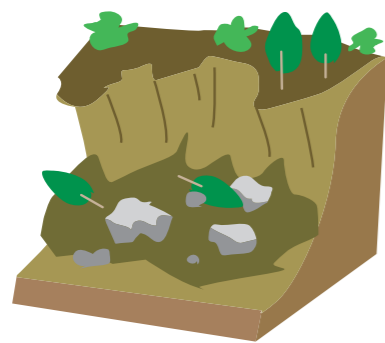
土砂災害の種類と前兆現象 Types of landslide disasters and Premonitory signs

近年、大雨や台風により、全国的に土砂災害が発生し多くの被害が発生しています。土砂災害のような突発的、局所的な災害は事前の予測が難しく、一瞬にして被害が発生します。京都府においても、毎年のように土砂災害が発生しています。

土砂災害警戒区域内にお住まいの方は、前兆現象などに十分注意し、自宅周辺や、避難経路等の危険な箇所を確認し、早い段階での避難行動を検討しておきましょう。

実際には警戒区域や特別警戒区域を越えて被害が出る場合もあり、これらの区域は一定の基準に基づいて指定されたものであることに留意してください。

がけ崩れ



地中にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象。
一瞬のうちに崩れ落ちるので、逃げ遅れなどで被害が大きくなります。

前兆現象



土石流



谷や斜面に溜まった土・石・砂などが、大雨による水とともに一気に流れ出す現象。
スピードが速く、破壊力も大きいので、広範囲に大きな被害が出ます。

前兆現象

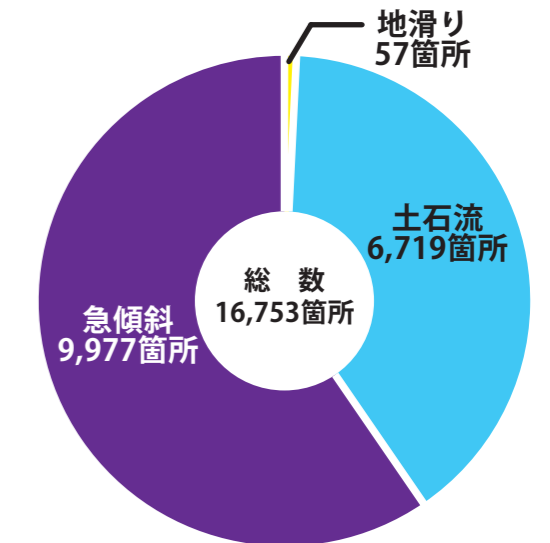


土砂災害警戒区域の指定 Specify of Sediment-related disaster warning area

京都府では、土砂災害警戒箇所調査によって確認された箇所を対象として基礎調査を行い、土砂災害警戒区域等の指定・公示を行っています。

京都府内の土砂災害警戒区域等は16,000箇所以上が指定されています。

京都府内の土砂災害警戒箇所数



(2018年3月～現在)

警戒 土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)



◎急傾斜地の崩壊

- 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
- 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域

◎土石流

土石流の発生のおそれのある溪流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

特別警戒 土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)

